

令和2年度 さいたま市立尾間木小学校 学校関係者評価書

さいたま市立尾間木小学校
学校関係者評価委員長



1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 3人
- (2) 実施回数 2回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

(1) 豊かな心を育てる指導の充実について

- ・新型コロナウイルスの感染症拡大防止に引き続き努めて、「学校の新しい生活様式」のもと、安全・安心な教育環境の整備を保持し続けていただきたい。
- ・ICT機器が積極的に活用されていくことに伴い、ネットいじめ等の「情報の負の側面」にも留意してトラブルの未然防止にも努めていただきたい。

(2) 確かな学力を育む指導の充実について

- ・さいたま市GIGAスクール構想のもと、ICT機器の積極的活用により「楽しくわかりやすい授業の創造」により、保護者や児童が「わかりやすい授業」の肯定的回答が増えたことは、成果の表れであると考えられます。その一方で、デジタル教科書と従来の紙の教科書による学び、臨時休校期間のように自宅での学習保証等、新たな課題も考えられます。これからの時代の学習の仕方、指導の仕方について、今後も研修に努めていただきたい。

(3) 家庭・地域との連携の充実について（健康・安全指導を含む）

- ・学区内で、防犯ボランティアの皆様がたくさん登下校の見守りをしている姿をよく見かける。児童も安全を見守ってもらうことに感謝の気持ちを手紙で伝える等があり、地域との連携により良い成果が示されている。今後、家庭との一層の連携も図り更なる安全指導の充実に努めていただきたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 1 「新しい学校の生活様式」のもと、安心安全な学校運営に全教職員であたっていく。また、積極的な生徒指導に努め、インターネット、携帯電話安全教室等、情報リテラシーの向上も含め、いじめの未然予防、早期発見・早期対応に努めていく。
- 2 さいたま市GIGAスクール構想の一層の実践に努め、全教職員が「わかる・楽しい授業」を推進することで、新たな時代の学習指導の一層の充実に努めていく。
- 3 防犯ボランティアの皆様の協力を得て、児童の登下校時の安全確保に一層努めるとともに、ボランティアと学校の連携した取組を学校だよりやホームページに掲載したり、「ボランティア感謝の会」で児童に直接伝え、保護者にも知ってもらったりすることで周知を図るとともに、安全に対する意識の向上を図る。

さいたま市立尾間木小学校長 引間 和彦

